

北いぶき



11月19日、JA北いぶき女性部は3支所合同の部員研修を開催し、マスクケースを作成しました。
詳細は9ページをご覧ください。

代表理事組合長	代表理事専務	常務理事	常務理事	上席理事兼 妹背牛地区代表理事	秩父別地区代表理事	沼田地区代表理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	理事	代表 表 監	常勤 監	監事	員外 監事
篠田 雅	黒田 洋一	澤田 浩樹	中川 幸雄	徳本 一也	小山 裕一	堀田 勝	中易 徹	堀田 高司	板垣 誠	向井 正浩	横山 昌利	上村 昌樹	戸田 毅	殿村 照美	畑地 誉	中易 利則	高田 道夫

新年あけまして
おめでとうございます。





年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

代表理事組合長

篠田 雅

新年明けましておめでとうございます。

組合員皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えの事と心よりお慶び申し上げます。

過ぎ去った令和三年度を振り返りますと国内におきましては、「東京オリンピック2020」の開催、岸田内閣の誕生、衆議院解散総選挙等々様々なことがありました。が、一昨年から猛威を振るう感染症の状況はすべての社会活動に負の影響を及ぼし、年末にはかなり終息に向かって来たものの、新たな変異ウイルスの出現への対応等、予断を許さない状況にあります。が、新薬の開発や三回目のワクチン接種等により一日も早い平穏な日常と社会活動の実現が待たれます。

地域農業を振り返りますと、昨年度の気象条件は偏った気象条件の下での生産活動となり、特に六月～九月にかけての降雨量は近年

にない極端な干ばつ傾向となり、基幹作物水稲をはじめ全ての作物に大きな影響を及ぼしました。中でも一部の畑作物、露地野菜での被害は甚大で、懸命な肥培管理を徹底したにもかかわらず収量・品質共大きな被害を受けた事と思います。改めて被害を受けられた方々にお見舞い申し上げます。

一方基幹作物であります水稲においては収穫後の作況が「一〇八」と評価された事は、まだ残雪が残る三月から営農に取り組み流した汗が収量面・低タンパク米生産両面で報われた一年と言えますが、コメの恒常的な需要量の減退や感染症拡大による非常事態宣言化等による外食産業の営業自粛により、消費が大きく落ち込み、結果として繰り越し在庫の増加等により価格面においては、下落基調となり豊作を素直に喜べる状況ではありません。

コメの消費については、国内人口の減少や食文化の変化等により

毎年一〇万トン程度の需要が失われていることは周知の通りですが、このことに加えて一昨年前からの感染症拡大により、外食産業の営業自粛や観光産業の停滞はコメばかりではなく、すべての農畜産物の消費に甚大な影響を及ぼしています。

今年度コメを取り巻く環境は需給環境を考えると厳しいですが、北いぶき農協管内においてはこれまでの取り組みにより築き上げてきた米主産地としての評価を失うことの無いよう、生産の目安を遵守しつつ非主食米への取り組みにより水稲を基軸にした地域農業を目指しますので、組合員皆様のさらなるご協力をお願い致します。

農業・農協を取り巻く環境は問題が山積されていますが、農協は「組合員」自らが出資をし、利用をし、経営をすることで組合員個々の経営に寄与し合わせて地域社会に貢献することを目的とする組織です。農業、農協を取り巻く環境は常に農政に大きく影響されますが、国民の食と生命を守り、さらに多面的機能として国土を守る農業に自信と誇りを持ち、組合員の一致団結した力を農協に傾注することにより、山積する課題に立ち向かわなければならぬと思

いますので、今後より一層農協事業へのご支援ご協力をお願い致します。

結びに、新しい年が天候に恵まれ取り組まれる全ての作物が豊穡の出来秋となります事と合わせて、感染症に対しワクチンや新薬の開発等により一日も早く終息し、平穏な日常を取り戻すこと、さらに組合員の皆様が幸せ多い一年となる事を心より御祈念致しまして年頭の挨拶と致します。





年頭のご挨拶

北海道農業協同組合中央会

代表理事会長

小野寺 俊幸

新年あけましておめでとうございます。

組合員並びに役職員の皆様には、コロナ禍にあってもその苦境にも負けず、日々営農に更に邁進されておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社会の発展に向け、日頃より多大なご尽力をされていることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

昨年の北海道農業につきまして、春先は天候に恵まれ順調に推移したものの、七月～八月にかけての長期間の猛暑や少雨による干ばつ、また、九月に発生した雹や大雨により、一部の地域や作物によっては、生育が大変、心配されたものの、おおむね平年作を確保することができました。

しかしながら、一昨年からの引き続き、新型コロナウイルスとの戦いが長期化し、今までの日常とは大きく変化した一年でありました。

農業分野においても例外ではなく各種イベントの自粛、外食の需要減少等の影響により、各作物の消費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえた、国産・道産農畜産物の需要喚起・消費拡大を図るとともに、外国人技能実習生が入国にも影響があり、農作業の人材確保にも大きな課題となっておりますので、北海道、全国連とも連携し、JAGグループ北海道としてしっかりとその対応を図ってまいります。

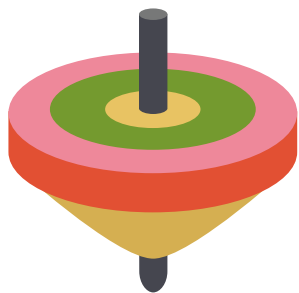
昨年は第三十回のJAG北海道大会を開催し、「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある地域社会』の達成」という将来ビジョンが決議されました。

コロナ禍やデジタル化への対応、SDGsへの貢献、信用・共済事業をはじめとしたJAG経営を取り巻く事業環境への対応など、北海道農業、JAGグループ北海道を取り巻く環境が急激に変化して

おり、このような環境に適応していくには、改めて、協同組合運動の原点である「対話」を通じて、実践方策を設定し、実践と改善をくり返すことで、変化の波をJAG運営に取り込んでいくことが必要となり、組合員・役職員が一丸となつてしっかりと取り組んでいくことが重要となります。

に宿するという意味を持つており、生命の誕生を宿す意味を表します。

一方、十二支の「寅」にも壬と同様で、草花が伸びようとする状態を表しています。この謂われにあやかり、本年が豊穡の年となること、新型コロナウイルスの一日も早い終息と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



年頭のご挨拶

空知農業改良普及センター

北空知支所 支所長

田 川 洋 一



新年明けましておめでとうございます。貴組合役職員、組合員・御家族の皆様におかれましては、

益々御健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃より普及センターの活動に対し、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、七、八月の記録的な高温・少雨があり、各作物の作柄に大きく影響しました。

水稻は、移植苗の播種作業は平年並に終了しましたが、四月二十四日以降の播種は、低温・寡照で出芽が遅れ、さらに育苗後半は高温で苗が徒長し、全般に苗質が低下しました。五月下旬に低温・寡照傾向となり一時生育が停滞しましたが、その後の高温・多照により生育が旺盛となり平年よりも茎数が増加しました。幼穂形成期は平年並の六月二十六日でしたが、七、八月の高温・多照により生育が進み、出穂揃が平年より七日早まりました。登熟期間を通じて高温だったため、成熟期は平

年より八日早い九月四日、収穫期は平年より十一日早い九月十六日でした。

早期に茎数を確保でき、出穂が早く、登熟期間が高温多照であったため、北海道農政事務所公表の北空知の水稲予想収穫量は、一〇aあたり六一九kgと平年より多く、作況指数は一〇八で作柄表示は「良」となりました。生育初期からアンモニア態窒素の吸収が良く、出穂期以降の窒素吸収が抑制されたため、タンパク質含有率が低くなりました。しかし、登熟前半の高温による乳白粒、登熟後半の土壌水分不足による腹白粒が発生し、外觀品質が低下しました。加えて、出穂後十日間の高温で急速に登熟した籾が登熟後半の少雨によって過乾燥となり立毛中の胴割れ粒が多発しました。

秋まき小麦は、生育は全般に平年並で経過しましたが、稈長は長く穂数が多かったことから、一部で倒伏が見られました。また、赤

さび病の発生も見られました。七月の高温多照の影響で登熟が進み、成熟期は平年より三日早い七月十二日で、好天により収穫作業は平年並に終了しました。少雨により茎葉が枯れ上がり、細麦となりましたが、多照だったことから、粗原収量および品質は平年並を確保できました。

大豆は、播種作業は降雨の影響でやや遅れ、一部で停滞水による出芽不良が見られました。七、八月の高温・少雨によって生育がばらつき、着莢数は平年の七八%と少なくなりました。特に、碎土や透排水性が不良の圃場は根張りが悪いため、少雨の影響が顕著で小粒となりました。収穫作業は降雨の影響で一時停滞し、皮切れ粒、しわ粒が多くなりました。

そばは、播種時期の降雨の影響で、出芽不良が目立ちました。特に、碎土や透排水性が不良の圃場は根張りが悪いため、七、八月の高温・少雨の影響が顕著で、全般に大幅な減収となりました。

花卉の主要品目である「スターチス・シヌアータ」は、主力の八月切り作型は、高温で生育・開花が前進し、短茎化して上位規格が平年より少なくなりました。切遅れたハウスでは、ブラシの乱れ

や変色が発生しました。高温の影響で出荷後の茎葉の黄化が平年より多く発生し、圃場では株傷みで茎葉の黄化が見られました。各作型で高温による株傷みが多く、出荷後半の収量に影響しました。

管内は水田営農を主体とした経営が多い中、コロナ禍による消費動向の変化に伴い米価が大幅に下落しました。これは農業経済のみならず地域経済にも大きな影響があると認識しています。普及センターでは、優良農業者や関係機関の協力を得て、水田の効率的な活用を目指し、主食用米を中心としながら飼料米、小麦、大豆、そば、園芸作物等の生産を確実なものとし、これらを組み合わせる最大限の所得を確保できる方策を検討しました。今後、これらをご提案し、経営改善を支援していきたいと考えています。

結びに本年が皆様にとって益々御健勝で実り多い年となりますようご祈念申し上げ新年のご挨拶とさせていただきます。





年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

青年部 部長

神 藤 武 志

新年明けましておめでとうございます。平素より組合員の皆様には私たち青年部に格段のご理解を頂いておりますことを、心よりお礼申し上げます。また、三町行政、各関係機関、各関係団体の皆様におかれましては、多大なるご指導、ご協力を頂いておりますことも重ねてお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大が年間を通して予断を許さない状況にありました。ワクチン接種が進み光明も見えた一年ではありましたが、農業分野において需要減退による価格の低下が幅広い品目で発生し、今もその影響が残っています。国際情勢においても、どの国も国内問題の影響で、自国優先・強調して国際秩序を作る力が弱まっている状況で、完全な解決にはまだ時間がかかると考えます。

さて、昨年の営農に目を向けますと、基幹作物である水稲では、初夏から登熟期にかけて天候に恵

まれ大きな被害もなく、順調に生育していきました。少雨により干ばつ胴割れ等の被害も心配されましたが、前年同様、タンパク値が低めに推移し、作況指数「二〇八」の「良」と、豊作基調で喜ばしい結果となりました。しかし、依然としてコロナ禍による農作物の需要減退が歯止めの利かない状態であり、次年度の米価下落が懸念されることから、ホクレン、J Aと連携しながらその動向を注視していく必要があると考えます。また、毎年のように各地で起こる自然災害・異常気象等にも対応出来る生産技術を磨き、安定的に安心・安全・高品質な農畜産物を全道・全国に提供していく責務があり、営農に日々努力を重ねていかなければなりません。

昨年の青年部活動は、コロナ禍において、活動が制限される中、実施できる事業をということで慎重審議を重ねながら活動を行いました。我々、北いぶき青年部は事

業を実施するにあたり、一〇〇名を超える盟友に参加を頂いております。感染対策を踏まえたうえで、ただけの事業が実施できるか不透明でしたが、人数制限等対策を行い、二つの事業を行うことが出来ました。次年度以降も、この経験を活かしながら仲間づくり、異常気象や予測のつかない農業情勢に負けず、時代に合わせた事業展開を図る事が重要だと考えます。

さらには、地域社会、地域農業へ貢献できるような青年部組織になっていきたいと考えます。

最後に、各関係機関、各関係団体の皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますと共に、組合員の皆様、青年部盟友の皆様、益々のご健勝でのご活躍とご多幸をご祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

北いぶき農業協同組合

女性部 部長

田村 かなえ



新年あけましておめでとうございます。
組合員の皆様お揃いで新春を迎えられたことと存じ、心よりお慶び申し上げます。

また日頃より、女性部活動にご理解とご協力を頂き、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、融雪が早く春作業も順調に進みましたが、水稻播種後の低温により、発芽不足も見受けられる状況でした。その後は、好天にも恵まれ作柄もよく豊穡の秋を迎えることができました。

ここ数年の気象条件の激しい変動により、集中豪雨による水害や、高温少雨の水不足から畑作物は収量に影響があるなど、畑作物の生産が安定しないことから農産物価格にも影響が見受けられました。

米に関しては、新型コロナウィルス禍による中食・外食産業への影響が長期化し、消費が低迷しました。また、過年産持ち越し在庫

により、令和三年産米価格に影響しており、一日も早い終息を願うばかりです。

そのような社会情勢のなか、本年度の女性部活動においては、少しずつではありますが、新型コロナウィルス感染拡大防止に努め工夫しながら、行事や会議などを行うことが出来ました。

女性部本部事業の部員研修は、今年度もJ A 空知女性協議会よりお声がけがあり、二年ぶりに三支部の部員が秩父別本所に集まり『マスクケース作り』を行いました。『マスクケース作り』には、これから皆が普通におしゃべりし、笑い合える日が来るように、一針一針心を込めて作成しました。短い時間ではありましたが、三支部部員と有意義な交流ができたと思います。

出来上がったマスクケースは、各支部から三町の社会福祉協議会等へ寄贈し、高齢者の方々と医療機関等の医療従事者の方々に届け

られました。『マスクケース作り』に参加してくださいました部員の皆様には感謝申し上げます。

私たち女性部は活動を通じて、根幹である『地域の仲間と協力し、次世代の人達にも参加して頂ける組織作り』を信条に、魅力ある女性部であるべく、皆さんと力を合わせて活動してまいりたいと思います。

ます。

これからも組合員の皆様、各関係機関の方々のより一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに皆様におかれましては、本年も健康で幸多く過ごされますよう、心よりご祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



絆

～ THE YOUTH FACE ～



田村 昌一郎さん

妹背牛地区・妹背牛北農事組合

作作品目
花卉

私は農業が嫌いでした。物心ついた頃から、泥まみれで汚い、送り迎えが軽トラ、世間は休日なのに休日じゃない、嫌なイメージしかなかった。家の手伝いもろくにしていなかったこともあり農業に興味も持てませんでした。妹背牛町で育ち、十五年農業に触れることなく義務教育が終わろうとしていたとき、人生で初めての大きな選択に迫られました。たくさん可能性のある普通科高校への進学、専門的な知識や技術を身に付ける農業高校への進学。正直この頃、自分の将来に関心もなく、勉強しなくてもよさそうという安直な考えで、ただ何となく農業高校を選択しました。一学年七学科あり全校生徒が八四〇人のマンモス校でした。妹背牛しか知らない私は、農業に興味がないなりに、少し都会の学校生活が正直楽しかったです。入学式を迎える日までは。

登校する前に早朝からの実習、授業で実習、放課後も実習。とにかく作業服を着ている時間が長かったです。寮に戻っても強制的な勉強時間が設けられ、消灯時間も早く、寝る前には廊下に一列に並んで一人ずつ点呼。さすがに熊の木彫りは掘ってはいませんが、ここは刑務所なのかなと思います。思春期に携帯電話の使用も禁止、始まったばかりの高校生活に絶望したのを覚えています。もともとなかった農業への熱も余計に冷めてしまいました。

「農業を志す以上これしきの事は耐えないといけない」という教え



越冬させて、来春に咲かせる品種の様子を確認



越冬ハウスにて使用頻度の高い除雪機をメンテナンス(この日はペンキ塗り)

だった気がします。いま考えると正論かもしれませんが、当時の私は嫌でした。

私は学校を卒業して間もなく、二十歳のころから(有)田村農園で働いています。就農してまだまだ半人前ですが一丁前に先輩がいます。いろいろ理解もしてくれて信頼もしてくれています。たぶん。いやきっと。

ただ、挨拶ができなかったり、同じミスを何度も繰り返したり、うだつが上がらないことも多々あります。

そんな先輩に日頃から偉そうに指導をしています。未熟な私も他人に教えることで改めて考えさせられることもあり、日々お互いに、一緒に成長していると実感しています。

農業に従事する者として、一人の人間としてもこの仕事を通してたくさんのかたちを経験し、学べることに感謝しています。

そんな環境のせいもあり昔より農業って悪くないかと思えるようにもなりました。

農業を好きでない以上、誰かに農業の魅力や、やりがい伝えることはできないかもしれません。でも私はこの仕事をきっかけにすごく大事なものを築き、得られました。だからもう少し仲間と頑張ってみます。胸を張って農業を好きといえるその日まで。

冬期 農事組合別懇談会・女性部との懇談会



女性部との懇談会

十二月一日、二日にかけて三地区で農事組合別懇談会、秩父別本所にて女性部三支部合同での懇談会を開催しました。

懇談会では、農協代表者からの現況報告と致しまして、「令和三年産農畜産物販売支払高見込み」「うるち米をめぐる情勢」や「令和四年営農計画書に係る主食用米の販売収入計画」等、営農販売事業部を中心に二十三項目について多岐にわたり報告・説明をさせて頂きました。

出席された皆様からは貴重なご意見やご質問、ご要望を頂きました。これらを基に、今後のJA事業がより良くなるよう役職員一同努めてまいります。



沼田地区・沼田東部東



妹背牛地区・妹背牛南



秩父別地区・稲豊

第四回 農事組合長会議

十一月二十九日、妹背牛支所大ホールにて令和三年度第四回目となる農事組合長会議を開催しました。

篠田組合長、田中妹背牛町長、田川普及センター北空知支所長の挨拶では、それぞれが「米余り」「米価の下落」について触れ、地域農業・地域経済・生産者の所得を守るために協力していきたいと語り



農事組合別懇談会での報告内容について説明させて頂きました

ました。

普及センターより、令和三年産農作物生育概要として、水稻・大豆・小麦について、生育のタイミングと気象経過の関連について解説。特に、水稻の胴割れについて来年度以降の発生対策が周知されました。

その後JAより、米穀農産事業部からの報告事項を中心に農産物の販売状況、うるち米をめぐる情勢、中間米・屑米の精算等、九項目について説明させて頂きました。



第三十回 J A北海道大会

十一月十六日、J Aグループ北海道による第三十回J A北海道大会が札幌市内で開催されました。組合長は会場にて出席し、同時に行われたWEB配信に専務以下常勤役員、非常勤役員、青年部・女性部の各支部長等がJ A北いぶき本所三階大ホールより参加しました。

今大会のメインテーマは『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」』。大会議案として、二議案が



上程された他、開催三十回を記念し、「2030年、2050年の地球とそこでの北海道農業の姿」と題した記念講演が行われました。

一号議案では、加速する社会・経済環境の変化への適応や顕在化している全道に共通する課題等について、組合員とJ A役職員との対話を通じて「実践方策」を設定し、実践と改善を繰り返すことで「J A運営の好循環」を実現することを基本目標に掲げ、二号議案では、「J A運営の好循環」に向けて、特に対処が必要な、組合員・J A役職員の人づくりを実現するための環境づくりやJ A経営基盤の確立・強化などに取り組むことが掲げられました。



挨拶をする黒田専務

J A北いぶき女性部 三支部合同部員研修

J A北いぶき女性部（田村かなえ部長）は、十一月十九日に本所大ホールにて午前と午後の部に分かれ、五十五名が参加して部員研修を開催し、マスクケースを作成しました。J A空知女性協議会の提案による「マスクケース作り活動」として、制作したマスクケースを町内の福祉施設等へ寄贈し、地域活動の輪を広げることを目的に管内各J Aの女性部で行われています。

裁縫が得意な方、苦手な方もいるなか、互いにアドバイスし、様々な色の合皮やカラフルな刺繍糸を使い、一枚ずつ心を込めて約一五〇枚を作成しました。

後日、女性部秩父別支部、妹背牛支部、沼田支部の役員が代表として、各町の施設へお渡しさせて頂きました。それぞれの施設からは、感謝と「頂いたマスクケース

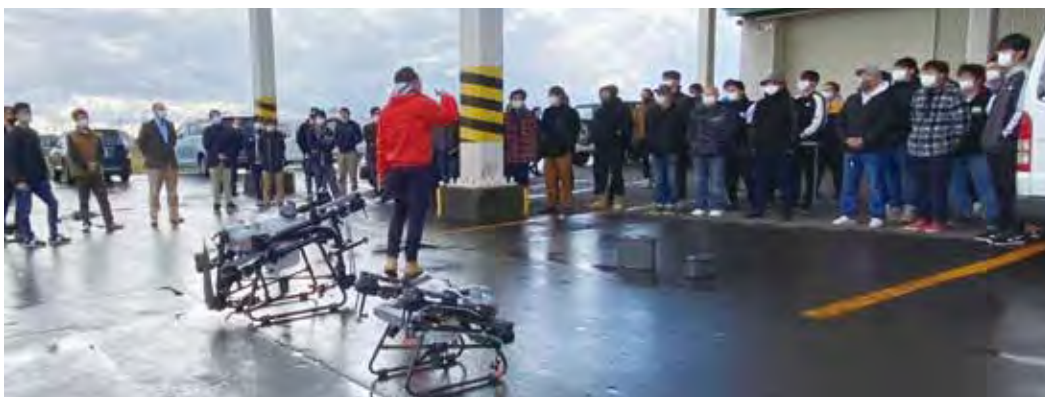


昨年は各支部での開催でしたが、今年は3支部合同で開催することができました

は必要としている皆様へしっかりとお渡しさせていただきます」とのお言葉を頂きました。



妹背牛支部 妹背牛町社会福祉協議会へ寄贈 秩父別支部 秩父別温泉ゆう&ゆへ寄贈 沼田支部 沼田町社会福祉協議会へ寄贈



あいにくの天気でしたが、無事にデモフライトを見学することができました



十一月十一日、JA北いぶき青年部（神藤武志部長）は、株式会社コハタより講師をお招きし、沼田町生涯学習総合センター「ゆめつくるにて」で「農業・ドローン講習会」を開催しました。

農業については、様々な水稻雑草への成分による効果や使用にあたっての注意事項等を説明頂き、ドローンについては製品性能を説明頂いた後、沼田町米穀低温貯留乾燥調製施設（スノークールライスファクトリー）敷地にてデモフライトを行いました。

JA北いぶき青年部 農業・ドローン講習会



学生へアドバイスを送る黒田副部長（左）



挨拶を行う石井副部長



意見交換会の総括を行う神藤部長

十一月十五日、JA空知青年部連合会北ブロックは拓殖短期大学にて約六十名の学生が参加して意見交換を行い、JA北いぶき青年部からは、神藤青年部長、石井副部長、黒田副部長が参加しました。

学生からは、就農にあたっての不安や青年部の活動内容について等、多くの質問を頂き、それに対して青年部から、生産者の先輩として経験談からアドバイスを送り、有意義な交流の時間を共有することができました。

JA空知青年部連合会北ブロック 拓殖短期大学との意見交換会



JAグループ通信

JA北海道中央会



JAグループ北海道では、令和3年11月16日に、第30回JA北海道大会を開催いたしました。本大会は、グループの基本方針を確認し関係者の意識を統一することを目的に、3カ年に1度、全道から組合員の皆さんの代表者が札幌に集まり開催しているものです。

今回の大会では、グループの将来ビジョン「北海道550万人※と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」」を実現すべく、令和4～6年度におけるグループの基本目標として、「JA運営の好循環に向けて対話の成果を実践」「JA運営の好循環を支える人づくり・JA経営の強化」が定められました。

本決議をもとに、組合員・JA・連合会一丸となって、JA運営のスパイラルアップに繋がるよう取り組みましょう。

※ 550万人とは、「道民」と「北海道にゆかりのある道外の方々」のことを指します。



↑大会実行委員長挨拶を述べる中央会小野寺会長

JA北海道信連



特殊詐欺被害については、新聞・テレビなどで連日報道されている通り、新たな手口が広がるなど大きな社会問題となっています。JAバンク北海道では、11月～1月にかけて、道内のJAバンク店舗でご来店者に対する声かけ運動を行うとともに、STVラジオでオリジナルコーナーを設け、北海道警察の専門家から、詐欺の手口や気を付けるポイントを説明いただくなど、啓発活動に取り組んでいます。JAバンクでは、引き続き北海道警察と連携し、特殊詐欺被害の撲滅に向け取り組んで参ります。



JA共済連北海道



JA共済連では、地域社会貢献活動の一環として、昭和50年から毎年道内各市町村の消防本部に救急車を寄贈しております。今年度の寄贈台数は3台であり、十勝地区の中札内消防署、留萌地区の羽幌消防署、上川地区の上富良野消防署に寄贈いたします。

当年度の救急車の寄贈が完了しますと、寄贈させていただきました台数は累計で212台となります。

今後とも行政とJAとの連携を図りながら、組合員ならびに地域住民に安心と安全の提供を続けるように努力してまいります。



ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共同で取り組んでいる「北海道農業応援プロジェクト」の一環として、10月1日に札幌ドームで開催された北海道日本ハムファイターズvs埼玉西武ライオンズ戦に協賛し、「ホクレン北海道農業応援ナイター」として試合が行われました。試合観戦に訪れた来場者に向けて北海道農畜産物のPRや農業への理解を深めてもらおうと特設ブースを設置。ホクレン大収穫祭などのチラシを配布するほか、大型ビジョンでCM放映を行うなどPR活動を行いました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。本号ではプレゼント企画も行っております。QRコードからWeb上で閲覧・応募が可能となっておりますので、ぜひご応募ください。



↑Web上の閲覧・応募はこちらから



JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介し、各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

AGRIACTION!

HOKKAIDO



理事会報告

第十回理事会（十一月二十六日付）

【報告事項】

管理本部

- 当面における農協行事予定について
- 固定資産の取得・処分・主要修繕費の支出について
- 組合員の加入・脱退等の申し出について
- 疑わしい取引の届け出状況について
- 新型コロナウイルス感染症への対応について
- 経営定期点検実施報告について
- 秩父別地区役員選任推薦委員の変更について
- 準職員の動向について
- コンプライアンス月次報告について
- 職員採用について（十二月一日付）

金融共済事業本部

- 長期資金の貸出し状況について
- JAバンクローン（生活資金関係）繰上償還手数料の設定について
- 「クミカン収支見込み」の送付について

営農販売事業本部

- うるち米をめぐる情勢について
- 令和三年産 米施設検査見込数量について
- 令和三年産 農畜産物販売支払高見込みについて
- 令和三年産 そばの精算について
- 令和三年産 中間米・屑米精算について
- 令和三年産 施設調製大豆の仮渡金について
- 令和三年産 米集荷奨励対策金の支払について
- 令和四年営農計画書に係る主食用米販売収入計画について
- 令和二年産米の追加精算について
- 令和三年産 花卉・蔬菜の取扱実績について

購買施設事業本部

- 購買施設事業実績検討表（十月末）について

【決議事項】

議案第一号

令和三年度事業収支見込（十月末基準）及び、定時給与（年末手当）の支給について

議案第二号

役員選任推薦委員の委嘱について

て

議案第三号

労働保険事務組合処理規程の一部改正について

【協議事項】

- 令和四年営農計画書 営農販売関係収益・費用の単価について
- 令和三年度年末組合員懇談会の

職員動態

開催に係る日程及び提出議案等について

□採用（十二月一日付）

成田 賢一

沼田支所車輛課車輛係

職員がデカ盛り弁当を食べて 米の消費拡大を応援しました



JA北いぶき職員は、職員親交会事業として、そらちJAグループ北海道による「新米デカ盛り弁当」の販売キャンペーンを通じ、米の消費拡大に取り組みました。

空知管内のAコープ・ホクレンショップにて期間限定で発売された総重量1kg超えの「新米デカ盛り弁当」を、昼食として一七七分発注しました。



クリスマスにぴったりの作品が出来上がりました

女性部沼田支部 一夜研修

十一月二十九日、女性部沼田支部（加藤早苗支部長）は、一夜研修をまちなかホットタウンにて開催し、「プリザーブドフラワーアレンジメント講習会」に三十一名の部員が参加しました。

講習会には深川市よりフラワーサロン・リユースより講師の方をお招きし、これからの時期にぴったりの壁掛けプレートのアレンジメントを作成しました。

様々な種類の花や装飾品から自分の好みに合ったものを選び、どのように配置をしようか他の参加者や、講師に相談して作成していました。たくさんさんの装飾を使った豪華なプレートからシンプルで通年飾れるようなデザインのプレートまで参加者一人ひとりの個性が輝く作品が出来ました。



十一月四日、女性部沼田支部寿会（大西トシ子会長）は、一夜研修を沼田町ほろしん温泉にて開催し、「プリザーブドフラワーアレンジメント講習会」に十一名の会員が参加しました。

講習会には深川市よりフラワーサロン・リユースより講師の方をお招きし、クリスマスリースがモチーフのアレンジメントを作成しました。多くの花や装飾品が用意され、会員同士で相談しながら選んでいる姿が印象的でした。

細かい作業が多く講師の話を真剣に聞き、参加者一人ひとりの個性が輝くアレンジメントリースが出来ました。

昨年よりコロナウイルス感染防止対策の影響で中々活動できず、久しぶりの活動という事で終始笑顔で会話を弾ませ、楽しい時間となりました。



ピンセットを使って閉じた花びらの開花処理を行います

女性部沼田支部寿会 一夜研修



分担して7種類のパンを作りました

女性部沼田支部フレッシュミズ パン作り講習会

十一月八日、女性部沼田支部フレッシュミズ（野田明枝会長）は、部員研修「パン作り講習会」を開催し、十名の会員が参加しました。

昨年、非常に盛況だった同講習会ですが、今年度のパン作りは、役員が中心となりレシピの作成やパンの作り方の指導など行い、マーブルパンや菓子パン、惣菜パンなど製作しました。作業工程も簡単で「お家でも作ってあげよう」といった声も聞こえてきました。昼食には、パン生地で作ったフォカッチャの他、自家製の野菜を使ってピクルスやサラダを作り、笑顔の絶えないとても有意義な活動となりました。



十月二十一日、女性部秩父別支部（戸村千代美支部長）は本所大ホールにて砂川市よりお越しいただいた佐藤敬司氏を講師に伝筆講習会を開催しました。伝筆の伝（つて）にはご縁の意味があり、いつでも誰でも筆ペンを使って「相手の記憶に残る」「話題になる」心のこもった作品を作ることが出来るコミュニケーションツールが伝筆です。



女性部秩父別支部

伝筆^{つて}講習会^{ふで}

講習会には二十名が参加し、五グループに分かれ講師の方が描いた見本を参考に、自分なりの「愛」「元氣」「北いぶき」の三作品をかきあげました。制作中は「難しい」「うまく文字のバランスが取れない」など苦戦しているようでしたが、下書き用紙に練習を重ねていくうちに、だんだんとコツがつかめてきたのか楽しいという声に変わっていました。



どの作品も素敵なものに仕上がりました

女性部秩父別支部 役員研修

十一月十五日から二泊三日の日程で、女性部秩父別支部（戸村千代美支部長）は、体調管理、感染対策を万全に行い東北への役員研修を実施。南三陸町被災地の視察とJAみやぎ登米女性部との交流会を行いました。

南三陸町被災地では、東日本大震災で被災した方から直接お話を伺い、テレビで見るよりもより鮮明な当時の状況を聞くことができました。また、南三陸町志津川地区をバスで巡り、旧防災対策庁舎や復興のシンボルとしてチリから寄贈されたモアイ像を視察しまし



山形県の宝珠山立石寺にも訪れました

た。東日本大震災があった年から十年が経過しておりますが、復興は本当に少しずつしか進んでいないのを改めて肌で感じました。

JAみやぎ登米女性部の活動写真を参考に事業紹介をして頂きました。その後は、女性部が作った名物の「はつと汁」を振舞って頂き、短い時間ではありましたが、楽しい交流会になりました。

今回の研修で女性部活動への学びを深めることができ、役員同士の親睦を更に深めた役員研修の時間となりました。



JAみやぎ登米女性部との交流

女性部妹背牛支部 助け合い組織運動

十一月五日、女性部妹背牛支部（田村かなえ支部長）は、助け合い組織運動として独居老人宅（一部生活支援施設入居者含む）に手作り豆腐を配布しました。早朝から女性部役員八名で豆腐を作り、午後から民生委員の同行のもと町内一四〇戸へ豆腐を配布しました。

豆腐を受け取っていただいた方からは、「いつも、美味しいお豆腐ありがとう」と感謝の言葉をかけていただきました。



妹背牛支部役員による豆腐作り



各戸へ訪問させていただきました



十一月十日、女性部妹背牛支部（田村かなえ支部長）は、部員一日研修として部員三十二名が参加し、NPO法人 わかち愛もせうしより講師をお招きし、『いきいき百歳体操』を町民会館にて行いました。

女性部妹背牛支部

部員一日研修



椅子を活用し、家庭でも実践できる内容でした

『いきいき百歳体操』とは、高齢者の介護予防のために、おもりを手首足首に装着して行う筋力向上を目的とした運動です。部員の皆さんは、各部位に四〇〇g程のおもりを付けて実施。日頃、農作業で身体を動かしていても、筋肉を意識してゆっくりと腕や膝を上げる体操に苦しそうなお顔を浮かべていました。それでも、筋力や運動機能の維持のために真剣に取り組みました。

その後は、ビンゴゲームで交流を深め、楽しい時間を過ごしました。



深川産の米粉と卵を使用し、メレンゲの力でふっくらと焼き上げます

J A 北いぶき女性部妹背牛支部フレッシュミズ（岡田綾会長）は、十一月二十四日に深川市アグリ工房あぶにて会員八名が参加し、冬期レクリエーションを開催しました。

アグリ工房あぶの講師の方にご指導頂きながら、ベーキングパ

女性部妹背牛支部フレッシュミズ

冬期レクリエーション



ウダーを使わないお米のシフォンケーキを作りました。卵を泡立てる時にはなかなか泡立たず大変そうでしたが、美味しく焼きあがりました。

終了後は、ビンゴ大会や歓談し、親睦を深め楽しい一日になりました。



11月29日、
女性部秩父別支部エルダーは
部員研修を行い、秩父別町で
インバウンド事業担当職員として働く
タイ出身の「アンさん」を講師に、
インバウンド事業の内容、
タイと秩父別の交流について
講習会を行いました

11月7日、
青年部沼田支部は
米の消費拡大事業として
コープさっぽろ さつない店にて
販促活動を行いました

PHOTO
だより



Contents

●年頭のご挨拶	2～6
●絆 ～ THE YOUTH FACE ～	7
●冬期 農事組合別懇談会・女性部との懇談会	8
●第4回 農事組合長会議	8
●第30回 JA北海道大会	9
●JA北いぶき女性部 部員研修	9
●JA北いぶき青年部 農業・ドローン講習会	10
●JA空知青年部連合会北ブロック 拓殖短期大学との意見交換会	10
●JAグループ通信	11
●理事会報告	12
●職員動態	12
●職員で米の消費拡大を応援しました	12
●女性部沼田支部 一夜研修	13
●女性部沼田支部寿会 一夜研修	13
●女性部沼田支部フレッシュミズ パン作り講習会	14
●女性部秩父別支部 伝筆講習会	14
●女性部秩父別支部 役員研修	15
●女性部妹背牛支部 助け合い組織運動	15
●女性部妹背牛支部 部員一日研修	16
●女性部妹背牛支部フレッシュミズ 冬期レクリエーション	16
●PHOTOだより	17
●新採用職員紹介	17
●年末・年始の営業時間について	18

新採用職員紹介



成田 賢一

(沼田支所車輦課車輦係)

生産者、地域の皆様に貢献できる
よう精一杯努めさせていただきます。
どうぞよろしくお願い致します。

● 年末・年始の営業時間について ●

部 門 月 日	事 務 所 (融資経済課 窓口含む) 営農販売事務所 (株父別)	生産資材店舗 農機車輛店舗	貯金共済店舗	A T M		給油所(セルフスタンド)	
				本 所 (株父別)	支 所 (妹背牛・沼田)	株父別	妹背牛・沼田
12/29 (水)	8:45～ 17:00 (仕事納め)	9:00～ 16:30 (仕事納め)	9:00～ 16:00	9:00～ 18:00	9:00～ 18:00	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00
12/30 (木)	休 業	休 業	9:00～ 16:00 (仕事納め)	9:00～ 18:00	9:00～ 18:00	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00
12/31 (金)			休 業	休 業	休 業	7:30～ 15:00	8:00～ 15:00
1/1 (土・祝)						休 業	休 業
1/2 (日)							
1/3 (月)							
1/4 (火)	1/5 (水)		9:00～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00
1/5 (水)			9:00～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00
1/6 (木)	8:45～ 15:00	9:00～ 15:00	9:00～ 15:00	9:00～ 17:00	9:00～ 17:00	7:30～ 15:00	8:00～ 15:00
1/7 (金)	8:45～ 17:00	9:00～ 16:30	9:00～ 16:00	9:00～ 18:00	9:00～ 18:00	7:30～ 19:00	8:00～ 18:00

(株)まちづくりぬまた 物産サービスセンター	12月31日 1月1日・2日・3日 1月4日以降	8:30～17:00 休 業 8:30～17:30 (土・日・祝日 8:30～17:00)
ダ・マルシェ 沼田店	12月31日 1月1日・2日 1月3日以降	9:00～17:00 休 業 9:00～19:00
(株)ホクレン商事 (エコープ株父別店)	12月28日・29日・30日 12月31日 1月1日・2日 1月3日 1月4日以降	9:00～19:00 9:00～18:00 休 業 10:00～18:00 10:00～19:00

ホームページの
新着情報でも営
業時間をお知ら
せしています

